

# SPODフォーラム2017全体アンケート集計結果

当日参加者数: 405名  
 SPOD加盟校から: 225名  
 SPOD加盟校以外から: 180名

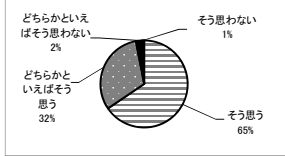
アンケート回答者数: 168名  
 回答率: 41.5%  
 回答期間: 9/15(金)~9/29(金) ※フォーラム終了3週間後よりWEB入力にて実施

## 1. SPODフォーラムでの研修成果について

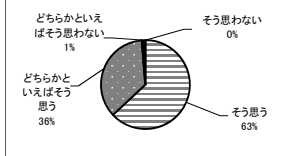
### 【SPODフォーラムは全体的に満足できる内容であった】

	度数	割合
① そう思う	110	65.5%
② どちらかといえばそう思う	53	31.5%
③ どちらかといえばそう思わない	4	2.4%
④ そう思わない	1	0.6%
計	168	100.0%
無回答	0	

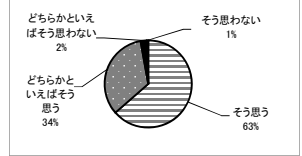
### SPODフォーラム2017(徳島大学開催)



### SPODフォーラム2016(愛媛大学開催)

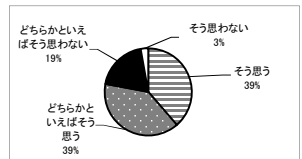
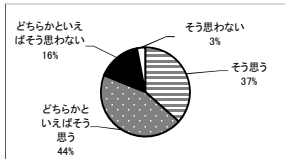
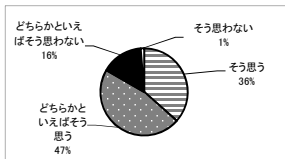


### SPODフォーラム2015(愛媛大学開催)



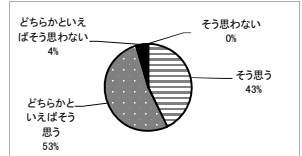
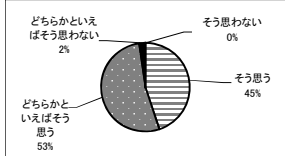
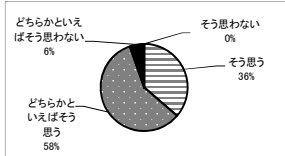
### 【所属組織を越えて人脈を広げることができた】

	度数	割合
① そう思う	61	36.3%
② どちらかといえばそう思う	78	46.7%
③ どちらかといえばそう思わない	26	15.6%
④ そう思わない	2	1.2%
計	167	100.0%
無回答	1	



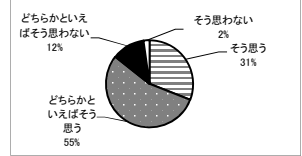
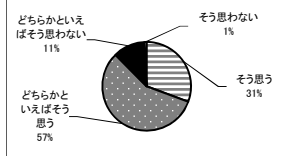
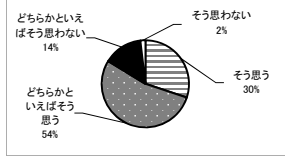
### 【自分に必要な知識やスキルを身につけることができた】

	度数	割合
① そう思う	61	36.3%
② どちらかといえばそう思う	98	58.3%
③ どちらかといえばそう思わない	9	5.4%
④ そう思わない	0	0.0%
計	168	100.0%
無回答	0	



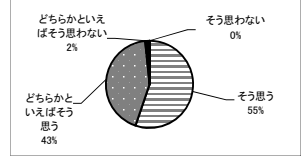
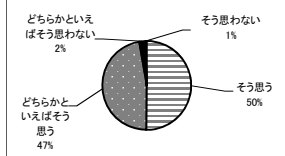
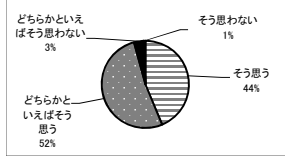
### 【業務や教育に対する意識や考え方が変わった】

	度数	割合
① そう思う	50	30.1%
② どちらかといえばそう思う	89	53.6%
③ どちらかといえばそう思わない	24	14.5%
④ そう思わない	3	1.8%
計	166	100.0%
無回答	2	



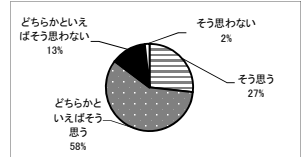
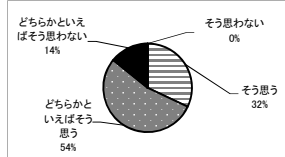
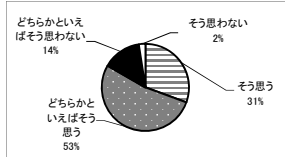
### 【業務や教育に積極的に取り組んでいきたいと思うようになった】

	度数	割合
① そう思う	73	43.7%
② どちらかといえばそう思う	87	52.1%
③ どちらかといえばそう思わない	6	3.6%
④ そう思わない	1	0.6%
計	167	100.0%
無回答	1	



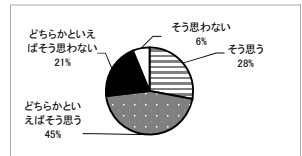
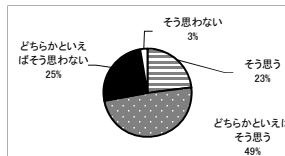
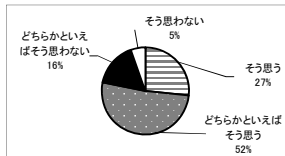
### 【フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や教育現場で実際に活用している】

	度数	割合
① そう思う	51	30.5%
② どちらかといえばそう思う	88	52.7%
③ どちらかといえばそう思わない	24	14.4%
④ そう思わない	4	2.4%
計	167	100.0%
無回答	1	



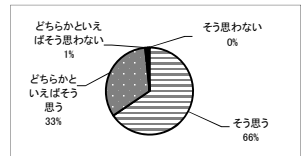
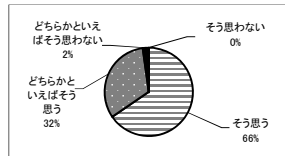
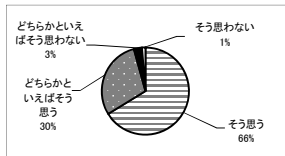
### 【フォーラムで得た知識やスキルを所属組織や他の教員に伝達している】

	度数	割合
① そう思う	44	26.7%
② どちらかといえばそう思う	85	51.5%
③ どちらかといえばそう思わない	27	16.4%
④ そう思わない	9	5.5%
計	165	100.0%
無回答	3	



### 【今後もフォーラムをはじめ、SPODが提供するプログラムに参加したい】

	度数	割合
① そう思う	110	66.3%
② どちらかといえばそう思う	49	29.5%
③ どちらかといえばそう思わない	5	3.0%
④ そう思わない	2	1.2%
計	166	100.0%
無回答	2	

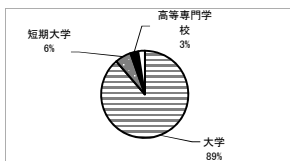


2. 感想、ご意見、ご要望等（別紙参照）

3. 参加者ご自身について

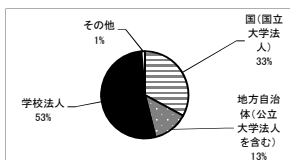
所属先

	度数	割合
① 大学	149	88.7%
② 短期大学	10	6.0%
③ 高等専門学校	5	3.0%
④ その他	4	2.4%
計	168	100.0%
無回答	0	



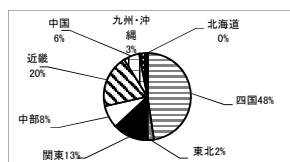
所属先の設置者

	度数	割合
① 国(国立大学法人)	55	32.9%
② 地方自治体(公立大学法人を含む)	22	13.2%
③ 学校法人	88	52.7%
④ その他	2	1.2%
計	167	100.0%
無回答	1	



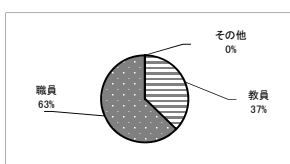
所属先の所在地

	度数	割合
① 四国	80	47.6%
② 東北	4	2.4%
③ 関東	22	13.1%
④ 中部	14	8.3%
⑤ 近畿	33	19.6%
⑥ 中国	10	6.0%
⑦ 九州・沖縄	5	3.0%
⑧ 北海道	0	0.0%
計	168	100.0%
無回答	0	



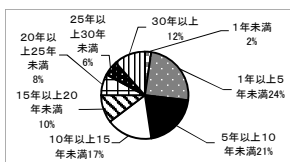
職種

	度数	割合
① 教員	61	37.2%
② 職員	103	62.8%
③ 学生	0	0.0%
④ その他	0	0.0%
計	164	100.0%
無回答	4	



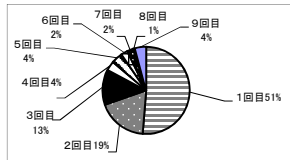
大学教職員等の経験年数

	度数	割合
① 1年未満	4	2.4%
② 1年以上5年未満	40	24.4%
③ 5年以上10年未満	34	20.7%
④ 10年以上15年未満	28	17.1%
⑤ 15年以上20年未満	17	10.4%
⑥ 20年以上25年未満	13	7.9%
⑦ 25年以上30年未満	9	5.5%
⑧ 30年以上	19	11.6%
計	164	100.0%
無回答	4	



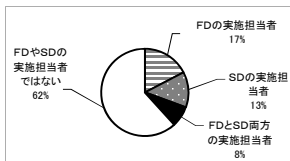
SPODフォーラムへの参加回数

	度数	割合
① 1回目	86	51.2%
② 2回目	31	18.5%
③ 3回目	22	13.1%
④ 4回目	6	3.6%
⑤ 5回目	7	4.2%
⑥ 6回目	4	2.4%
⑦ 7回目	4	2.4%
⑧ 8回目	1	0.6%
⑨ 9回目	7	4.2%
計	168	100.0%
無回答	0	



あなたはFDまたはSDの実施担当者ですか？

	度数	割合
① FDの実施担当者	29	17.4%
② SDの実施担当者	22	13.2%
③ FDとSD両方の実施担当者	13	7.8%
④ FDやSDの実施担当者ではない	103	61.7%
計	167	100.0%
無回答	1	



## SPODフォーラム2017 参加者からの要望等について

### ■開催時期について

- ・今後も夏期休暇期間に実施いただきたい。
- ・開催日は、毎年この同じタイミングのほうがよい。SPOD は大きな研修でもあり、そのほうがスケジュールを立てやすい。

対応

- ・過去の実績に基づき、教職員が最も参加しやすい夏期休業中の平日に開催している。来年度は香川大学で8月29日（水）～31日（金）に開催する予定である。

### ■開催地について

- ・会場についてはやや交通の便が悪く感じた。
- ・JRの便が悪く、香川で開催していただきたいです。
- ・開催場所は四国のどこかではなく、愛媛県松山市にて開催いただきたいです。
- ・西日本の大学勤務員が多く参加していたので、四国だけでなく、京阪神などでの開催によって、よりフォーラムの認知度や意義が高まるのではないかと感じた。

対応

- ・SPODフォーラムは、今後も四国4県で持ち回り開催を予定している。来年度は香川大学で8月29日（水）～31日（金）に開催する予定である。

### ■当日のスケジュールについて

- ・名刺交換などをしてしていると休憩時間がとても短いので、特に昼食の休憩時間をもう少し長くしてほしい。
- ・もう少し開始時間を早くして、お昼時間を1時間半とっていただければ、お昼時間にいろいろな方と意見交換できるかなと思いました。

対応

- ・昼休憩の時間については、開始時刻やプログラム時間の調整等で対応できる部分がないか今後検討する。

### ■プログラムの申込みについて

- ・参加したいワークショップの定員が少なく、希望通りの参加とはいけません。可能であれば、受講希望の多いワークショップについては、期間内に複数回開講としてはいかがでしょうか。
- ・参加したいプログラムの募集人数が、運営上仕方ないことではと思いますが応募が始まった時には満席だった（四国以外の大学のため）のが残念でした。

対応

- ・SPOD加盟校の教職員に関しては、先行受付期間に申し込めばほぼ希望どおりプログラムを受講できるようになっている。加盟校外の教職員にも希望するプログラムをできるだけ受講していただけるよう、広めの会場を使用し、講師に可能な限り最大定員数で実施してもらうよう依頼する等、定員設定の工夫を行う。

【参考】プログラム受講数（延べ人数／参加人数）

SPOD フォーラム 2017 全体 3.53, 加盟校内 2.36, 加盟校外 4.99

SPOD フォーラム 2016 全体 2.92, 加盟校内 1.87, 加盟校外 4.54

## ■プログラムについて

- ・ 1コマ2時間は短いように感じた。研修によっては、通常4時間のものを2時間に短縮したものもあり、内容が薄いように感じたので、1コマ2時間30分（開始9時30分）でも良いと思う。
- ・ 少し詰め込みすぎであると思いました。半日のプログラムの増加も希望します。
- ・ どの研修でも時間的な制約が多い故に、さらに深めたい場合にどのような研修に出るべきか、どのような部分を学ぶべきか（Next Step）が示されると良いと思った。
- ・ 高等教育の動向を踏まえた新しいプログラムをもっと多く開講してほしい。
- ・ 複数回参加する方にとっても、新鮮なプログラムを今以上に提供してほしい。
- ・ 新しい講習はFD、SDそれぞれ3つ以上重ねないでほしいです。NewのFDが2つ重なっても仕方ないとは思いますが。
- ・ コマ割で、聞きたい授業が重なっていて、残念でした。
- ・ 内容が重複する講座があった。講座間の調整を図った方がよい。
- ・ 想像していたのと異なる内容で実施されていた講座もあったようであり、参加後に戸惑うこともあった。
- ・ グループワークをする際にあらかじめグループが決まっているといいなと思います。
- ・ キャリアの研修などは、同じ大学や知り合いだと本音がかえって出しにくい面があります。席は事前に決めておく方がよいと思います。

## 対応

- ・ 今回で9回目の開催となった本フォーラムは、四国内の隣接した4県持ち回りで2009年から毎年開催してきている。この特性を活かし、新しいプログラムを織り交ぜつつ、ニーズの高いプログラムについては複数年連続して開講するなど、参加者が数年かけて一通りのプログラムを受講することを想定したプログラム構成となるよう配慮している（※フォーラム参加回数3回以上：30.4%）。今後も、この方針を基本とした上で、その年のプログラム検討を行う際は、プログラム時間及びプログラム数を確保する方法や、同時間帯のプログラムや新規プログラム等の配置について、講師や会場の都合も含め、全体的な調整を行っていく。
- ・ プログラム検討時にプログラム間の内容重複が生じないように調整しているが、各講師からのシラバス提出時にも再度内容を吟味するとともに、シラバスがプログラムの内容を的確に表現したものとなるよう、シラバス作成依頼の際、講師へ改めて注意を促す。
- ・ 参加者のグループ分けを行うかどうか、講師へ事前に確認している。今後は、自由席のプログラムについても、当日講義開始前の教室のスライドに「できるだけ初対面の方と座ってください」等の注意書きを投影したり、会場受付スタッフから声かけをしたりする等、できるだけ同じ機関からの参加者が同じグループに重ならないような方法を検討する。

## ■会場について

- ・ ポスターセッションの会場が狭かったです。
- ・ スーツケースを持っている人にとっては、受付・クロークは1階の方がありがたい。
- ・ 展示・休憩スペースにパンフレットや本が並べられていて座りにくかったです。
- ・ 研修会場内が寒く室外との温度差が大きくて大変でした。

#### 対応

- ・参加者が利用しやすい会場環境を作り出せるよう、各会場の広さや配置等を検討する。
- ・ポスターセッションの会場については、会場が狭く感じないように各ポスターパネルのレイアウト等を工夫する。
- ・展示・休憩スペースには、展示物を置く机と何も置かない机を混在させて参加者がどこに座るか選べるようにする等レイアウトを工夫する。
- ・会場の空調については、会場スタッフに適宜調整するよう運営スタッフマニュアルにも記載しているが、参加者に対して調整可能な服装を準備いただくよう周知するとともに、会場スタッフに更に留意してもらうよう運営スタッフマニュアルへの記載内容を工夫する。

#### ■運営について

- ・2日目からの参加となったのですが、建物と各講座の場所の対応が分かりにくかったです。受付の際にご案内いただけるか、全体の会場案内を設置いただけるとありがたいです。
- ・教室や校内の案内（掲示・看板）が少しわかりにくいように感じました。
- ・シンポジウム会場への誘導がよくなかった。

#### 対応

- ・全体受付会場付近に大きい会場案内図を掲示したり、会場の外に適宜案内係のスタッフを配置し声かけしたりする等の対応を検討する。
- ・シンポジウムでは、大人数の参加者をスムーズに会場内へ誘導できるよう、受付方法を検討する。

#### ■ポスターセッションについて

- ・ポスター番号の奇数・偶数で振り分けられている発表時間を守っていないグループがありアピールする時間に差が生じていたので不公平と感じた。運営側からの注意や指摘もなく残念に思った。

#### 対応

- ・ポスターセッションでは、ポスター発表を行う参加者も別のポスターの説明を聞くことができるように発表時間を便宜上設定している。また、ポスター内容の共有や、ポスターを通じた参加者間の交流を図るため、フォーラムの初日から最終日までポスターを掲示している。これらを考慮し、今後は、ポスターセッションの発表時間を発表者に周知する際、指定する時間帯（発表時間）には少なくとも1名がポスターの前で待機し来場者への質問対応にあたってもらい、それ以外の時間帯は、別のポスターの説明を聞いた来場者への質問対応を行ったりしながら、各ポスターの内容をより多くの参加者が共有できるように配慮していただきたいことも併せて伝えるよう工夫していく。

## 《開講してほしいプログラムについて》

### アクティブ・ラーニング

- ・アクティブラーニング、特に反転授業の実践例についてもっと知りたい。
- ・他の教員、職員とともに共同して行うアクティブ・ラーニングの授業実践によりよい工夫・ヒントが得られる内容。
- ・多人数時のアクティブラーニングについて。
- ・AL を実際の現場でどのように使い、効果があったのか具体例を知る機会。
- ・ディープ・ラーニングの実践方法。既存プログラム以外のアプローチもあれば受講したい。

### 国際

- ・留学生支援に関する研修。
- ・留学生向けの英語授業の進め方。
- ・英語論文の研究指導方法。
- ・国際交流に関する講座。
- ・仕事で使える英語講座。
- ・大学（高等教育）の国際化に関連するプログラム。

### 学生支援

- ・学修支援センター、学修支援スタッフに関する講座。
- ・不登校や鬱などの学生に対する心理カウンセリングに近い内容。
- ・若手職員向けの学生対応に関するプログラム。
- ・学生対応のロールプレイングによるプログラム

### IR

- ・データ分析で、EXCEL を使ったプログラム。
- ・データに基づいた教育改善、IR 関係、職員の能力向上につながる研修など。
- ・アンケート作成とその分析方法。

### 危機管理

- ・防災やネットワークなどについて。
- ・研究活動に係るリスクマネジメント（研究不正・研究費不正使用の防止、技術情報流出の防止、利益相反、安全保障輸出管理など）に関するプログラム。

### ゼミ運営

- ・研究室の運営に関するプログラム。
- ・学生の学習指導や生活指導を含めたゼミ運営について。

### 質保証

- ・三つの方針をベースとした教育の質保証体制の事例。
- ・内部質保証に関連するプログラム。

### 法規

- ・学校法規に関する研修。
- ・大学に関する基礎的な法律について。

### 人材育成

- ・人材育成関係。
- ・配慮の必要な職員への対応。

### 管理職

- ・監督職向けの組織マネジメント研修。
- ・中間管理職の職場作り、スキル（コーチング、会議の進め方）。

### 事例発表

- ・他大学のSD推進体制やSD活動などを発表しあう場。
- ・詳細で具体的な他大学の事例発表など。

### その他

- ・ティーチング・ポートフォリオ研修。
- ・系統学習、PBLにおけるルーブリック作成の基礎を学ぶ講座。
- ・学生間の能力差、学習レベル差が大きい場合の授業の進め方に関する研修プログラム。
- ・大人数クラスでの授業評価。成績の採点、入力を楽にする方法。
- ・学生による不正行為（試験におけるカンニング、論文における剽窃）を防止するための、指導方法。
- ・コーチングスキルのプログラム。
- ・学生が学習することが面白いと感じるための工夫や質問のしかた、問のたてかた。
- ・教務関係のプログラム。教務系職員の職能開発に資するもの。
- ・キャリア・就職(出口戦略)に視点を置いた講義。
- ・ダイバーシティの具体的な実践や取組について。
- ・研究推進や産学連携・地域連携に関するプログラム。
- ・著作権など、その他知的財産に関連する研修。
- ・大学に関する知識（大学リテラシー等）、専門用語や知識全般、答申など、大学改革に必要な知識。
- ・電話対応講座。
- ・保護者との関わり方、保護者が大学に求めているもの、保護者会・懇談会等の開催についてなど。
- ・研修担当者向けの自大学における研修の企画・運営方法。
- ・中堅職員から見て、経験したことのない業務の入門編的なプログラム。
- ・アンガーマネジメントについて。
- ・学問分野に特化したプログラム。
- ・小学校や中学校での取り組みを紹介したものも入れたら、今後につながるのでは。